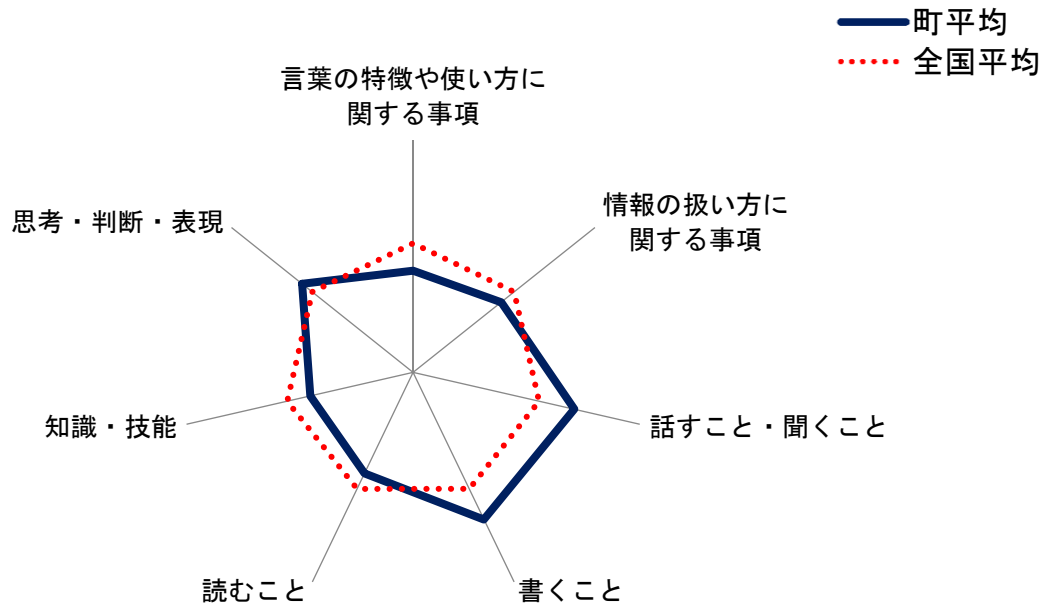
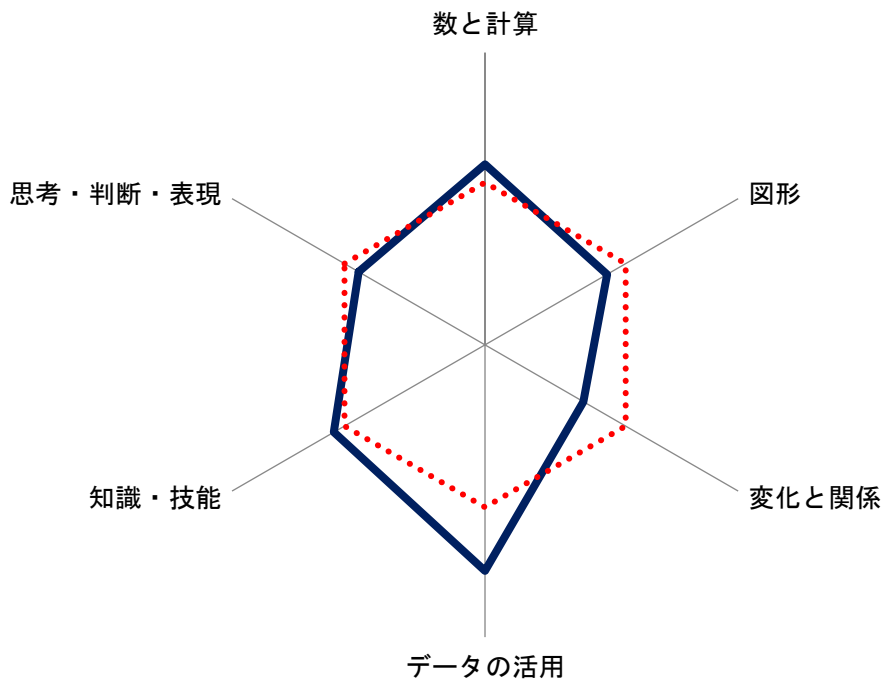


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

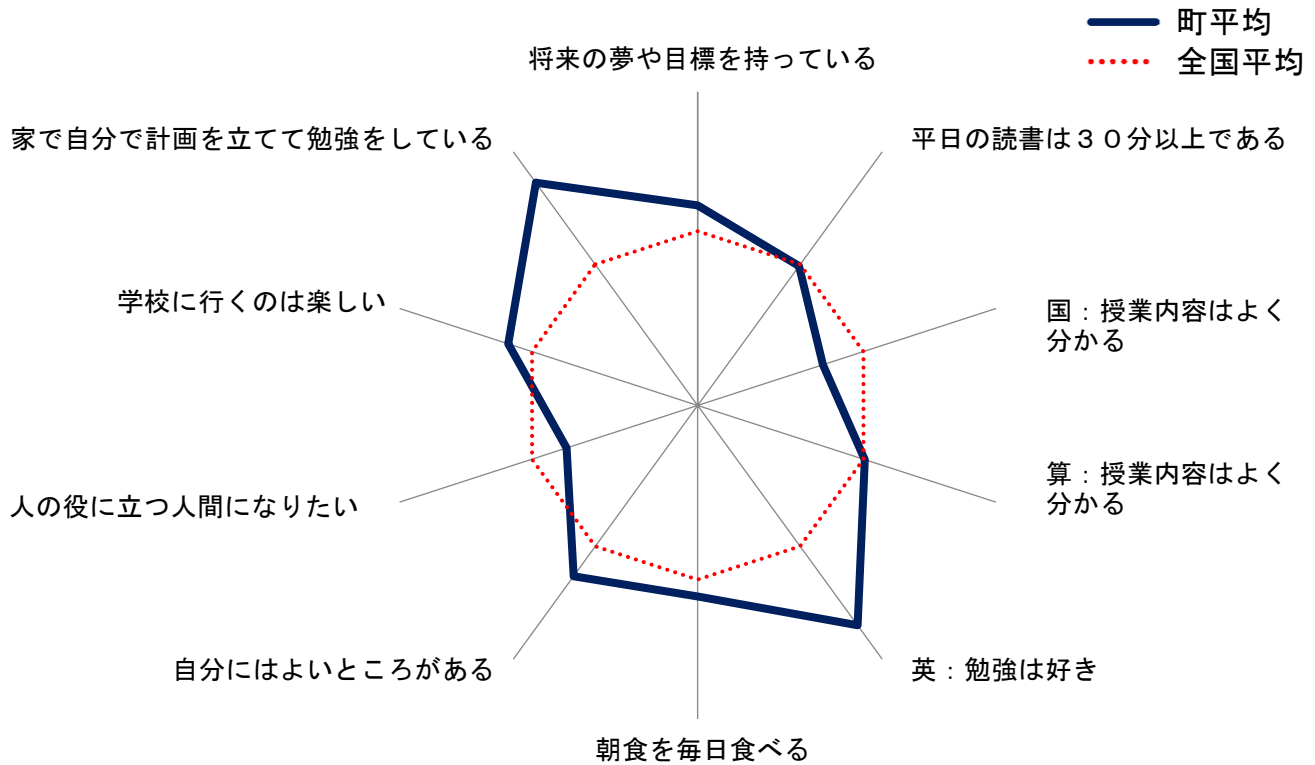
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」、算数の「データの活用」の項目が全国平均を大きく上回っており、良好な結果である。一方、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、算数の「変化と関係」の項目が全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後は、これまで培われてきた愛媛教育のよさと適切なICTによる教育を効果的に組み合わせることで、より質の高い授業改善に取り組んでいくことが望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げている多くの項目が全国平均とほぼ同じか上回っている。特に、「英語の勉強は好き」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の項目の差が大きい。一方、国語の「授業内容はよく分かる」、「人の役に立つ人間になりたい」の項目が全国平均を大きく下回っている。今後は、児童にとって「分かる、できる」を実感できる授業となるよう授業改善を推進するとともに、自己肯定感を高める教育活動のより一層の充実が望まれる。